

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県芸術の森公園	所管課	教育委員会 学術文化財課
所在地	甲府市貢川1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月2日
指定管理者	SPS・桔梗屋グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6ha ○施設の内容 ・野外研修施設 ・茶室 ・日本庭園 ・バラ園 ・広場 ・園路 ・緑地 ・彫刻等		
主な業務内容	(1)施設の利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	同規模の公園は県内各地にある。 ただし、当公園は美術館・文学館と一体となり、芸術の森公園を形成しており、このような性格を持つ公園としては唯一のものである。
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	利用者数	620,615	512,028	476,804	
	利用者数合計	620,615	512,028	476,804	
	目標値	553,000	505,500	508,000	510,500
目標値設定の考え方及びその理由	平成24年度実績に基づく指定管理募集提案時の目標数				
対26年度比		82.5%	76.8%		
利用率	112.2%	101.3%	93.9%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	22,180,000	28,607,000	28,607,000	24,535,000
	その他	330,000	360,000	719,000	364,000
	収入合計(A)	22,510,000	28,967,000	29,326,000	24,899,000
支出	人件費				
	県への納付金				
	管理運営費	23,441,000	28,967,000	30,730,000	24,899,000
	うち外部委託費(B)	20,878,000	27,036,000	27,036,000	20,878,000
支出合計(C)	23,441,000	28,967,000	30,730,000	24,899,000	
収支差額(A-C)	△ 931,000		△ 1,404,000		
外部委託比率(B÷C)	89.1%	93.3%	88.0%	83.9%	
利用者一人当たりの経費	43.3	56.3	60.0	48.1	

5 利用者満足度 山梨県芸術の森公園としてのアンケートは実施していない。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施。法令順守を前提に、専門業者に委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。また、緊急度が高い案件については、県直営部門と調整を密に行い即時対応するなど、安心安全な管理を実施することができた。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
運営業務	業務計画書に基づき知見豊かな職員を配置し、円滑な運営を行うとともに、入園者や近隣住民からの要望にも柔軟に対応した。また、突発的な事項には、館内で十分調整した上で進めるなど、館一体となり運営業務に取り組むことが出来た。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
利用状況	「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日」イベント等、公園でのイベントを積極的に行ったことにより、新たな利用者の獲得に繋げることができた。	積極的なイベント開催により、新たな利用者獲得に向けての努力は評価できる。今後も引き続きイベント等を積極的に開催して、利用者増加に努めてもらいたい。
収支状況	電気使用量を抑えるなど節減に努めたが、電気料金の契約方法見直しにより昨年実績に比べると光熱水費が増加した。また、効率的な植栽管理に努めているが、お客様や近隣住民からの剪定要望もあり、大規模な剪定・伐採をするなど例年よりも費用をかけた。ボタン園のボタンの植え替え作業など、公園内の景観の維持にも努めた。	今後はより一層の効率化に努めるとともに、削減した経費の利用者還元に努め、利用者サービスの向上を図ってほしい。
運営目標の達成状況	業務仕様書等に示された業務を適切に実行した。さらに利用者からの声で公園内の植栽の伐採、間引き等を実施した。平成28年1月の軽井沢スキーバス転落事故以降、バス旅行のツアー客が大幅に減少したため、目標として掲げていた508,000人には約31,000人足りなかったが、県直営部門の協力も得て行った「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日イベント」等の誘致事業によって新たな来館者の獲得ができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	県直営部門と連携し、効率的な運用管理を行っている。また、利用者からの声を受けて公園内の植栽の伐採、間引き等を実施し公園整備に努めたことや、ファミリー層をターゲットとしたイベントを季節毎に開催するなど、利用者増加に向け新たな客層開拓への取り組みは評価できる。 今後は、なお一層県直営部門との連携を深めつつ、新たな客層開拓を積極的に行い、利用者数目標の達成につながるよう努力してほしい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	芸術の森公園については、季節ごとの花や緑を県民の方にお楽しみいただけるよう植栽管理を中心に取り組んでいく。また、近隣住民、公園利用者の声に耳を傾け真摯に対応していく。 また公園で実施するイベントは、県民の方に芸術の森公園だけでなく「美術館・文学館」を知っていただくよい機会であり、広報活動と捉えている。展示室内への誘致策、新規イベントの検討なども継続実施していく。	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

